

訪問看護支援センターだより

<https://shien.tottori-kangokyokai.or.jp/>

発行：公益社団法人鳥取県看護協会 鳥取県訪問看護支援センター 訪問看護ステーション数：78か所（令和7年3月現在）

2040年を見据えた訪問看護の未来に向けて！

令和6年度支援センターから行政や関係機関にこんなことを要望しています

中山間地域の訪問看護体制の整備

中山間地域の訪問は、移動に時間を要しガソリン代も高騰している等、非効率な状況となってきたため、補助金の創設を要望しました。

訪問看護師の安全確保

複数名での訪問やセキュリティー機器の整備に係る補助金の創設を要望しました。鳥取県警察本部と訪問看護に使用する車両の駐車許可申請の負担軽減等について情報を共有しました。

地域の実情に合わせた訪問看護制度設計

日本訪問看護財団の調査に協力し、様々な機会に鳥取県の現状を伝え、厚労省への要望活動において、反映してもらえるよう連携を図りました。

訪問看護指示書の郵送費用負担軽減

鳥取県医師会へ、訪問看護指示書の授受に係る郵送費用は各医療機関がご負担いただくよう、要望書を提出しました。

2040年へ向けて支援センターがめざすもの
～人に寄り添い支える訪問看護が皆さんのそばに届くように～

アウトリーチによる支援事業の強化

● 初任者訪問看護師の現任教育に係るアウトリーチ

管理者（育成担当者）並びに初任者訪問看護師に対して訪問支援を行い、初任者訪問看護師の定着や質の向上、管理者の現任教育に係る業務の負担軽減をめざしています！

● 経営支援のアウトリーチ

経営・管理上の問題や困難事例の対応、訪問看護事業所の新規立ち上げ等の助言やお手伝いで安定した運営をめざしています！

令和7年度の新たな取り組み（検討中）

- オンライン請求・オンライン資格確認の本格始動後の情報発信
- 中山間地域の訪問看護サービス確保対策事業
- カスタマーハラスメント対策事業

会長挨拶

公益社団法人 鳥取県看護協会
会長 松本美智子



平素より、鳥取県訪問看護支援センターの事業につきまして、ご理解とご協力をいただきまして、感謝申し上げます。さて、2025年を目途として推進されたさまざまな取り組みが到達年となり、今年はその評価とともに、2040年を見据えたさらなる動きが推進されていきます。今後、在宅医療、訪問看護の果たす役割はますます重要となつてきますが、昨年5月に厚生労働省により「訪問看護推進室」が設置されました。対象領域が明確化された部署が創設されたということは、大きなステップであり、今後の役割発揮に期待したいところです。

少子高齢社会の到来により生産労働人口の減少に伴う人材確保や働き続けられる環境の整備、継続する物価高騰等に対応する安定的な経営基盤づくりなど課題は、山積しています。鳥取県では、令和7年度も訪問看護支援センターの更なる機能強化に向けた体制強化が図られる見込みで、中山間地域対応に伴う訪問看護ステーションへの一部補填制度の創設やカスタマーハラスメント対策支援等について検討されています。また、訪問看護ステーション大規模化推進を目指す事業所へのアウトリーチも継続していきます。

訪問看護が地域における看護の拠点として力を発揮することができるよう、関係機関と連携をとりながら共に取り組んでいきましょう。

鳥取県看護協会では令和5年度、「訪問看護ステーションの大規模化推進のためのワーキング」を立ち上げ、2040年を見据えた持続可能な訪問看護提供体制について具体的な検討を行いました。その結果を踏まえ、今年度は様々な取り組みを行っています。

令和5年度鳥取県補助事業「訪問看護ステーションの機能強化推進事業」を活用して、大規模化した3事業所にお聞きしました!!!

～大規模化を目指した理由から今後の展望！～

交流会の様子



大規模化の実際を知ることができた。

自法人への要望や説明ができそう。



田中 洋美 氏

訪問看護ステーションナースくる

- 事業所の経営安定化には、看護師常勤換算5人は必要。
- 鳥取県の各種補助金事業を活用しながら、人員や車両を増やしてきた。
- 今後も、看護師を採用し続けられるステーションを目指す。



相見 京香 氏

ホームベースドケア訪問看護ステーション

- 同グループのクリニックからの依頼に迅速に対応することや、多様化する地域のニーズに答えられるように大規模化を目指した。
- 今後も職員数を安定化させ、依頼を断らないステーションを目指す。



内田 千公 氏

訪問看護ステーションかけはし

- 地域のニーズに柔軟に対応し、依頼は断らず真摯に対応することを心掛けている。看取りは年間50例。
- スタッフ間の風通しが良く、皆で作上げるステーションを目指す。
- 生活介護事業も新規に立ち上げる予定。

事業報告(4月～3月)



人材育成

初任者訪問看護師の現任教育に係るアウトリーチ支援

鳥取県訪問看護支援センターアドバイザー等が、管理者(育成担当者)並びに初任者訪問看護師に対して、訪問看護ステーションに出かけて現任教育を行うことで、初任者訪問看護師の定着や訪問看護師としての質の向上を図ることを目指しています。



支援を受けて

直接お話が聞けるので、より具体的に理解することもできました。的確なアドバイスや、参考となる資料なども提供していただき、大変心強かったです。まだまだ未熟ですが、教育体制を整備し、向上心をもって今後も頑張ってみようと思えました。

管理者



支援を受けて

はじめは、ケア内容を覚えることで精一杯でしたが、周りを見ながら訪問ができるようになりました。難病の方の訪問や待機もできるようになり、利用者・家族のニーズを引き出すような関わりを心がけたいと思いました。

初任者訪問看護師

訪問看護体験研修 ～初めの一步～

10/30日(水)鳥取県看護研修センターにて1日講義、11月に県内の訪問看護ステーションで1日体験実習を行いました。訪問看護に興味のある3名の参加がありました。そのうち1名は、ステーションへの就職につながりました。

受講生の声

以前より訪問看護に興味があり、育児中で臨床から暫く離れて不安だったので参加しました。訪問に同行し、色々話を聞くことができました。不安解消につながり、参加して良かったです。



初めの一步～講義後のシナリオ読み

訪問看護体験同行 ～訪問看護の1日体験してみませんか！～

鳥取県内の希望地域(東・中・西部)の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行して訪問看護の体験ができます。今年度は、6月～12月の間に、今後の就職や訪問看護の実際を知りたいという3名の参加がありました。

参加者の声

- 体験実習へ参加してよかった!
- いつか訪問看護の仕事に就きたい!
- 今日感じた思いを大切にしたい!



初めの一步～訪問カバンの中見てみよう!

訪問看護職員養成講習会（5月23日開講～12月18日閉講）

この研修は、訪問看護に必要な基本的知識と技術を習得し、訪問看護の質を高めることを目的としています。約7か月間にわたり8回の講義、約25時間のeラーニング（自宅学習）9～11月の3か月間に「病院1日間」「地域包括支援センター1日間」「訪問看護ステーション3日間」の計5日間の実習を行います。12月18日に閉講式が行われ21名の受講生に修了証を授与いたしました。実習をお引き受けくださいました施設等の皆様、ありがとうございました。



閉講式（令和6年12月18日）

養成講習会 受講生の声

訪問看護リハビリステーションくらよし
秋吉 和美さん



● 受講したきっかけ

訪問時、自分で判断・選択していく事に自信が無く不安を感じていました。同時に、自分の訪問でお金を頂いている利用者さんに対しても、払っていただく価値のある訪問内容にしなければという想いもありました。そんな中、上司からの勧めもあり、訪問看護に必要な知識や技術を学びたいと思い受講を決めました。

● 受講した感想

集合研修では、座学で知識を学び、受講生同士でのロールプレイングを通して技術を学ぶことができました。また、グループワークでは様々な考え方や各ステーションの実際を伺える機会が多く勉強になりました。実習では、地域で生活されている方々の健康増進の必要性や在宅生活を送っていく中でセルフケア能力を高める関わり方、関連機関同士の連携のとり方など、現場でしか学べない貴重な経験をさせて頂きました。

いきいき訪問看護ステーション境港
足立しのぶさん



● 受講したきっかけ

訪問看護に従事し7年目。本当にこの観察・処置・ケア・対応でよかったかと振り返ることが多く、その思いを解決できずに悶々と過ごすことが多かった。原因は自身の知識・技術不足によるものだと考え、基礎から学び直したいと感じ受講することにした。

● 受講した感想

eラーニング、講義、グループワーク、実習を通し、知識を深めることができただけでなく、受講生同士や実習先の方々と訪問看護について話す機会となり、有意義な研修となった。研修での学びは実際の訪問現場で生かすことができている。また、自分自身の今後の課題についても明確にすることができた。今後も自己学習を続け、「来てもらってよかった。」と言ってもらえる訪問看護師を目指していきたい。

訪問看護キャリアアップ研修

この研修は、訪問看護ステーション管理者・職員の質の向上および地域で質の高い組織的な訪問看護サービスを提供できることを目的としています。令和6年度は以下のとおり研修会を開催しました。

開催日	内容	講師名	方法
4/14(日) 4/20(土) 4/24(水)	精神科訪問看護基本療養算定要件研修	鳥取県立厚生病院 医長 植田 俊幸 氏 南部町国民健康保険西伯病院 精神科認定看護師 高田 久美 氏 相談支援センターサマーハウス ソーシャルワーカー 影井 千春 氏	集合
5/17(金)	制度・報酬	公益財団法人 日本訪問看護財団 大竹 尊典 氏	ハイブリッド
6/27(木)	権利擁護・虐待	鳥取市福祉部長寿社会課 森谷 里美 氏 鳥取市福祉部長寿社会課鳥取市中央地域包括支援センター 門脇 早紀 氏	ハイブリッド
8/31(土)	働きやすい職場づくり	常磐大学 教授・がん看護専門看護師 角田 直枝 氏	ハイブリッド
9/14(土)	クレーム・ハラスメント	株式会社 医療・介護を受ける人と担う人のナーシングカンパニー 認定看護管理者 山崎 和代 氏	ハイブリッド
9/20(金)	運営・経営管理	オフィス萩原 保健師・社会福祉士 萩原 正子 氏	オンライン
10/4(金)	意思決定と看護倫理	大阪医科薬科大学 老人看護専門看護師 原田かおる 氏	ハイブリッド
10/19(土)	労務管理	加藤看護師社労士事務所 代表 加藤 明子 氏	オンライン

受講生の声

- 悩んでいた時にタイムリーにこの研修が受けられてとても理解しやすかったです。今後の対応に役立てるとともに、悩んだ事例については対応方法や経過を振り返りたいと思います。
- 看護職は、擁護者としての役割があり、看護倫理に基づくケアを実践する事が重要であるのが改めて学べ満足できました。
- 他のステーションの方との交流で、有益な情報を得ることができました。今後も困りごとを共有しながら、質の良い看護と、スタッフが働きやすい職場づくりに励みたいです。



10/4意思決定と看護倫理

経営支援

訪問看護についての 相談事業

2月現在で396件の相談が
寄せられています。

訪問看護加算の算定要件など訪問看護ステーションからの相談が多いです。病院や居宅介護支援事業所から訪問看護利用相談についての相談もあります。

訪問看護事業所への経営支援のための アウトリーチ支援

- 相談内容
事務所の運営・経営管理について
- アドバイス内容
スタッフ育成や、今後の大規模化を目指すための研修や事業等の活用方法、経営安定化のための方法等

令和6年度は3事業所の
支援を実施しました。

コンサルテーション

～仕事で困ったことや疑問、お悩みはありませんか？～



専門性の高いアドバイザーが、申込者の現在の状況について検討し、現状がより良い方向へ向かうように申込者と一緒に話し合い、質の高い訪問看護を提供できるような支援を行っています。お気軽にご相談ください。

令和6年度は4事業所の支援を実施しました。

*アドバイザー紹介

- 在宅ケア特定認定看護師
- 精神科認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 皮膚排泄ケア認定看護師等

普及活動

訪問看護の出前講座

勉強会や職員研修会
としてご利用ください。

地区公民館や介護支援事業所等で訪問看護や在宅療養に関する出前講座を無料で開催しています。

開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
7/11(木)	河崎 元気処	住民	訪問看護の利用の仕方	30名
7/25(木)	富益 新田いきいきサロン	住民	訪問看護について聞いてみよう	11名
7/31(水)	淀江 どんぐりの会	住民	訪問看護について、健康寿命について、自分の生き方を考える	16名
8/20(火)	啓成 健康会	住民	訪問看護について、健康寿命について、自分の生き方を考える	12名
9/25(水)	鳥取医療生活協同組合 健康まちづくり部	住民	在宅医療、訪問看護について、健康寿命を延ばす、自分の生き方を考える	8名
1/21(火)	米子市淀江地域包括支援センター	専門職	事例から考える在宅看取りのための「地域支援体制」	18名
2/12(水)	青谷 山根寿会	住民	老々介護・在宅医療について	22名
3/4(火)	成美 奈喜良よりあいサロン	住民	訪問看護でできること、元気なときから考えるアドバンス・ケア・プランニング	10名
3/7(金)	福米西地区あじさいの会	住民・専門職		19名

参加者の声

- 自分や家族だけで考え込まない手段があると分って良かった。
- 訪問看護について、知らなかったが、よく理解できた。
- 仕事の都合で訪問看護師さんと話をしたり、看取り等で助けていただいたり、頼りにさせていただけに感謝していました。また、エンディングノートは知っていますがあまり詳しく話をした事がなかったので、機会がある中で、家族と相談してみたいと思いました。



7/25新田集会場

シリーズ

訪問看護ステーション ダーツの旅



いわみ ちょうほう もんかん ぞ

岩美町訪問看護ステーション

〒681-0003 鳥取県岩美郡岩美町大字浦富1029番地2 TEL : 0857-37-5105 FAX : 0857-73-1344 e-mail : houkan@iwami-hp.jp

01 特色・特徴・理念

岩美町訪問看護ステーションは、平成12年に開設して今年で25年を迎えます。町内唯一の訪問看護ステーションです。岩美町内全域を何処へでも訪問しています。利用者・家族の思いに寄り添い、「自宅で暮らしてよかった」と感じていただけるように、日々訪問看護師として励んでいます。岩美町内の関連施設と連携を図り、利用者・家族を支えています。

02 アピールポイント

365日24時間緊急対応し、電話での相談や緊急訪問をしています。在宅中心静脈栄養、人工呼吸器装着、ストーマ、尿道留置カテーテルなど医療処置のある方が安心して在宅生活を継続出来るようにスタッフ一同、自己研鑽しています。岩美病院と常時連携を図り、訪問診察・訪問リハビリと協力して在宅生活・在宅看取りを支えています。



03 スタッフさんの声

訪問看護が大好きなスタッフばかりです。利用者・家族の立場になって、よりよい在宅生活が過ごせるように、スタッフ間で活発なカンファレンスを行っています。利用者・家族が笑顔で迎えてくださることが、私たち訪問看護師の活力です。



ぼうもんかんで

訪問看護ステーションしみず

〒682-0081 鳥取県倉吉市宮川町129 TEL：0858-27-0818 FAX：0858-24-5531 e-mail：ho-kan@smz-hp.net

01 特色・特徴・理念

当ステーションは清水病院に併設しており今年で開設9年目です。現在看護師5名、理学療法士5名、作業療法士3名が在籍しています。

親しみやすいスタッフばかりで常に相手の立場を考えたサービスを提供しています。

ご利用者様とご家族様の過ごしてこられた生活を尊重し、住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう支援することを心がけています。



02 アピールポイント

日々の健康管理から在宅看取りまで幅広く支援させていただいています。24時間緊急対応もおこなっています。リハビリテーションも充実していますので、看護師、リハビリスタッフ多職種それぞれに意見を出し合い、安心、安全に生活していただけるように提案、実践をおこなっています。

皆様の思いに寄り添いながら「しみずで良かった」と笑顔で言っていただけるように今後も努めていきます。

03 スタッフさんの声

とてもチームワークが良く、困った時はいつでも相談できる環境です。

初めての手技でも丁寧に教えてもらえて、一人訪問になった時は自信をもって処置することができます。

多職種連携を大切にしており早期対応、早期解決に努めています。

毎日ミーティングが行われご利用者様にとってどう支援を進めていくのが良いか話し合いをおこなっています。今後ご満足いただける支援となるよう、チーム全員で頑張っています。



ぼうもんかんで

訪問看護リハビリステーション ラビット

〒689-3546 鳥取県米子市熊党181-2 TEL：0859-21-8552 FAX：0859-21-8553 e-mail：loveit@loh.co.jp

01 特色・特徴・理念

ラビットは株式会社ライオンハートの事業として2017年9月に米子市熊党に開設し、8年目を迎えた訪問看護・訪問リハビリのステーションです。

大山方面、淀江方面、名和方面からのご依頼を多く頂き、訪問しています。山陰道利用し20分前後でお宅に伺うことができます。看護・リハビリスタッフとともにご利用者の持てる力を引き出し、希望を満たすことができる関わりを実践しています。24時間365日の対応も行い、望む場所で安心して安全に過ごせるように支援を行っています。

02 アピールポイント

ICT機器（vitallink、lineworks）を積極的に取り入れ、主治医との迅速な情報共有を行っています。また、スタッフ一人一人がiPadを所持し利用者様の状況や主治医との情報交換がリアルタイムに把握できる環境です。看護・リハビリ協同するご利用者様も多く、共に専門性を生かした支援が出来るのが強みです。退院直後からの看護・リハビリ介入を必要とされるご利用者様からの依頼が増えています。

ここ数年、ストマセルフケア確立困難ケースの依頼を受け、看護師が積極的に対応しています。



03 スタッフさんの声

20代～60代の幅広い年齢層スタッフが揃っています。それぞれの年代からの意見を率直に発言し合い毎日活気のある職場環境です。

社内（2回/月）、事業所（1回/月）、社外研修も目的を持って積極的に参加し、最善の看護・リハビリが提供できるよう努力しています。利用者様やご家族様、関わるすべての方に対する接遇も勉強しています。「ラビットさん！」と皆さまから沢山声をかけて頂けるよう頑張っています。

Information

令和7年度 訪問看護養成講習会

日程 令和7年5月21日(水)～12月17日(水)
申込期間 令和7年3月28日(金)～4月18日(金)
申込方法 ホームページよりお申込みください。

対象者

- これから訪問看護を始めようとする者（3年未満）
- または訪問看護の知識取得をめざす者（保健師・助産師・看護師・准看護師の資格があること）

令和7年度キャリアアップ研修(管理者研修)(案)

日程	研修名	会場	申込期間
5月29日(木)	暴力・ハラスメント予防・対策と実際	エースバック 未来中心	随時
9月17日(水)	働きやすい職場づくりとモチベーション管理		
9月30日(火)	訪問看護ステーションの管理業務の概要・管理者の役割・諸制度と現状・経営管理		
10月8日(水)	精神科訪問看護基本療養費 算定要件研修 フォローアップ研修		
10月21日(火)	訪問看護ステーションの管理者としての課題の整理・分析と今後の目標立案		
11月12日(水)	訪問看護事業における質の評価と改善		
11月 未定	権利擁護・虐待の防止	未定	

詳しくは訪問看護支援センターホームページをご覧ください。
未定の研修については、詳細が決まり次第お知らせします。
皆さまのご参加を、お待ちしております。

※マナブルからの申し込みをお願いします。

マナブル (manaable) のご案内

①鳥取県看護協会HP「研修案内」から「研修申込サイト(マナブル)」にアクセス

②「新規登録」ボタンをクリック



会員の方

非会員の方

- メールアドレス
- 日本看護協会会員No.
- 鳥取県看護協会会員No.
- 生年月日 を入力して送信

●メールアドレス
を入力して送信

入力したメールアドレスに、本登録のURLが届きます

本登録画面に必要な事項を入力して完了!

*ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

冊子類ご利用ください。無料でお送りします



在宅療養をはじめの前に



訪問看護ステーションガイド



小児科訪問看護のご案内

………… 鳥取県内訪問看護ステーション一覧表 ……………



東中西部版



精神科対応版



小児科対応版

～訪問看護体験研修～初めの一步～

日程 ●講義：10月 ●実習(1日)：11月

対象者 訪問看護未経験者（看護学生含む）

※詳細が決まり次第ホームページ、郵送でお知らせします。

訪問看護を体験してみませんか!

訪問看護師に同行して訪問看護の体験ができます。訪問看護師が在宅でどんなふうに看護をしているのか…ぜひ実際に体験し、現役の訪問看護師の生の声を聞いてください。訪問看護に興味がある方ならどなたでも体験できます。

体験は1日（無料）



【新刊図書】貸出もしております。お気軽にお問い合わせください。

鳥取県訪問看護支援センタースタッフ紹介

鈴木 妙 所長・在宅ケア特定認定看護師
 村上 志奈 看護職
 米村由紀子 事務職



3名のスタッフで運営しております。
どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

今年2025年は巳年です。「成長」「変革」「再生」を象徴する年で、新しい挑戦や変化に前向きで姿勢を示す年とされています。職員にも年女がいます。一同頑張ります。

鳥取県訪問看護支援センター
キャラクター
とりり〜ん



鳥取県訪問看護支援センター

電話・FAX 0857-24-1533

〒680-0901 鳥取市江津318-1

✉ sodan@tottori-kangokyoikai.or.jp

